

特定施設使用~~（変更）~~届出書

年 月 日

松山市長 殿

住 所 愛媛県〇〇市〇町〇番地〇
申請者 氏名又は名称 株式会社〇〇
代表者氏名 代表取締役 〇〇 〇〇

瀬戸内海環境保全特別措置法第7条第2項~~（第8条第4項、第9条）~~の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	株式会社〇〇	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	松山市〇町〇番地〇	※受理年月日	年 月 日
特定施設の種類の	第4号口、第72号	※施設番号	
有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	※審査結果	
△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考	
△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
△排出水の量（排水系統別の量を含む。）	別紙4及び別紙5のとおり。		
△排出水の汚染状態（排水系統別の汚染状態を含む）			
△用水及び排水の系統	別紙6のとおり。		
△特定施設の設備（有害物質使用特定施設の場合に限る。）	別紙7のとおり。		

- 備考 1 特定施設の種類の欄には、当該特定施設が水質汚濁防止法施行令（昭和46年政令第188号）別表第1又はダイオキシン類対策特別措置法施行令（平成11年政令第433号）別表第2のいずれに該当するか、並びに当該別表に掲げる当該特定施設の号番号及び名称を記載すること。
- 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙7を提出することを要しない。
- 3 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 4 ※印の欄には、記載しないこと。
- 5 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 6 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。
- 7 氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあつてはその代表者）が署名することができる。

①届出の種類

届出様式は、特定施設使用届出、特定施設変更届出で兼用となっているので、該当しない部分を二重線で消して届出ること。

(例)

設置使用届出を行う場合 特定施設使用~~=(変更)=~~届出書

②年月日

届出年月日を記入すること。

③届出者の氏名等

届出者の氏名又は名称及び住所等を記入し、法人の場合は、その代表者の氏名を併せて記載すること。

氏名法人の場合はその代表者の氏名を記載し押印することに代えて本人（法人の場合はその代表者）が署名することができる。

なお、届出者が法人等の代表者でない場合は、代表者から届出者への委任状を添付すること。

④届出に係る根拠条文

該当しない条項を二重線で消して届出すること。

(該当する根拠条文)

設置使用届出の場合 第7条第2項

変更届出の場合 第8条第4項又は第9条

⑤工場又は事業場の名称

特定施設を使用（変更）しようとする工場又は事業場の名称を記入すること。

⑥工場又は事業場の所在地

特定施設を使用（変更）しようとする工場又は事業場の所在地を記入すること。

⑦特定施設の種類、有害物質使用特定施設の種類

水質汚濁防止法施行令別表第一に掲げる号番号及びその名称を記入すること。なお、有害物質使用特定施設の場合は、別紙7（特定施設の設備）が別途必要となる。

特 定 施 設 の 構 造

工場又は事業場における施設番号	N o 1	N o 2
特定施設番号及び名称	第 4 号ロ	第 72 号
型 式	愛媛鉄工所製〇〇A型	〇〇省告示第〇号第〇号第△号
構 造	ステンレス製 別添 1 のとおり	鉄筋コンクリート製の地下埋設 別添 2 のとおり
主 要 寸 法	縦〇×横〇×高さ〇mm	縦〇×横〇×高さ〇mm
能 力	◎◎洗浄〇〇k g /日 洗浄容量〇m ³ /日	処理対象人員〇〇人 計画汚水量◎◎m ³ /日
配 置	別添 3 のとおり ※特定施設及び関連主要施設の図面添付	別添 4 のとおり ※特定施設及び関連主要施設の図面添付
設 置 年 月 日	——年——月——日	〇〇年 〇〇月 〇〇日
工事着手予定年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日 (又は許可後直ちに)	——年——月——日
工事完成予定年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日 (又は着工後〇日後)	——年——月——日
使用開始予定年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日 (又は完成の翌日等)	——年——月——日
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

①工場又は事業場における施設番号

工場又は事業場内の全施設のうちから当該特定施設を特定する番号等を記入すること。名称があれば、併せて記入すること。また、別図により、構造図、配置図等との関係を明らかにすること。

②特定施設番号及び名称

水質汚濁防止法施行令別表第一に掲げる号番号及びその名称を記入すること。

③型式

自動式、回転式等施設の型式をメーカーのカタログ等で確認し、記入すること。また、施設に商品名等の名称があれば記入すること。

④構造

ステンレス製、FRP製等その材質及び円筒、角形等その他物理的形態を記入すること。また、詳細な構造図により明らかにすること。

⑤主要寸法

施設の縦、横、高さ等の寸法を記入すること。

⑥能力

時間（1日）当たり又は1バッチ当たりの処理能力を記入すること。

⑦配置

配置図により明らかにすること。

⑧設置年月日

既設の施設で変更がない場合に記入すること。特定施設の新設や構造等変更の場合には、本欄の記入は不要である。

⑨工事着手予定年月日、工事完成予定年月日、使用開始予定年月日

特定施設の設置又は構造等変更の場合に、工事着手、工事完成、使用開始のそれぞれの予定年月日を記入すること。なお、工事着手とは特定施設の据付け工事の着手をいう。

⑩その他参考となるべき事項

特定施設と同型の施設を同時に複数設置する場合に、その施設数を記入すること。同型の施設について、個々に構造等を記入する必要はない。

特定施設の使用方法

工場又は事業場における施設番号	No 1		No 2		
特定施設号番号及び名称	第4号口		第72号		
設置場所	別添5のとおり		別添6のとおり		
操業の系統	別添7のとおり ※特定施設を含む操業系統を記載		別添7のとおり ※左記と同一に記載してもよい		
使用時間間隔	連続、8時～17時 ※1日の通常操業時間帯を記入		連続、24時間		
1日当たりの使用時間	9時間		24時間		
使用の季節的変動	季節変動なし又は〇月～〇月に多い		季節変動なし		
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	◎◎ ○kg/日 ○○液 ○m ³ /日		塩素系固形錠剤 ○kg/日		
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	5.8～6.8	5.8～6.8	5.8～6.8	5.8～6.8
	BOD (mg/L)	200	250	10	20
	COD (mg/L)	200	250	15	30
	SS (mg/L)	200	250	50	60
	ノルマルヘキサン (mg/L)	35	40	20	25
	T-N (mg/L)	25	30	20	25
	T-P (mg/L)	10	20	8	16
	※有害物質があれば記載				
汚水等の量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	最大	
	200	300	300	400	
その他参考となるべき事項	汚水等はNo2 汚水処理施設処理 (○○液については委託業者回収)				

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

①設置場所

配置場所図により明らかにすること。

②操業の系統

「特定施設を含む操業の系統」について、操業系統図により明らかにすること。

③使用時間間隔

「連続」か「間歇」かを記入すること。

④1日当たりの使用時間

1日の使用時間の合計を記入すること。

⑤使用の季節的変動

「特定施設の使用に季節的変動がある場合に、その概要」を記入すること。

⑥原材料（消耗資材を含む）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量

特定施設を含む作業工程において、使用する原材料（消耗資材を含む）の種類、1日当たりの使用量、使用方法について、次のことに留意し、できるだけ詳細に記入すること。

- ・種類は、原材料、薬品名等を記入し、商品名を記載するときは、主たる成分の名称を記入すること。
- ・1日当たりの使用量は、単位を明確に記入すること。
- ・使用方法は、原材料の使用目的、使用方法及び使用するときの濃度等を記入すること。

⑦汚水等の汚染状態

「特定施設の使用時において、当該特定施設から排出される汚水等の汚染状態（当該特定事業場の排水に係る排出基準に定められた事項に限る。）」を記入すること。pH、大腸菌数を除き、単位はmg/Lとする。

⑧汚水等の量

当該特定施設から排出される汚水等の量で、その汚水等が処理されるかどうかにかかわらず、その全量を記入すること。また、汚水等の一部あるいは全部を循環しようとする場合であっても、その全量を記入し、「その他参考となるべき事項」欄にその概要を記入すること。

⑨その他参考となるべき事項

当該施設から出る汚水を公共下水道に排出する場合、廃棄物として委託処理する場合には、その旨記入すること。汚水処理施設で処理する場合は、処理する汚水処理施設の名称を記載すること。

汚 水 等 の 処 理 の 方 法

工場又は事業場における施設番号	No 2								
処理施設の設置場所	別添 8 のとおり								
設 置 年 月 日	〇〇年 〇〇月 〇〇日				年 月 日				
工事着手予定年月日	——年——月——日				年 月 日				
工事完成予定年月日	——年——月——日				年 月 日				
使用開始予定年月日	——年——月——日				年 月 日				
種 類 及 び 型 式	〇〇省告示第〇号第〇号第△号				} 処理施設が特定施設の場合は 別紙 1 と同じ記載をする				
構 造	鉄筋コンクリート製の地下埋設 別添 2 のとおり								
主 要 寸 法	縦〇×横〇×高さ〇mm								
能 力	処理対象人員〇〇人 計画汚水量◎◎m ³ /日								
処 理 の 方 式	〇〇ばっき方式								
処 理 の 系 統	別添 9 のとおり ※系統図面及び設計計算書添付								
集水及び導水の方法	塩化ビニル製パイプによる導水								
使用時間間隔	連続、24時間				} 処理施設が特定施設の場合は 別紙 2 と同じ記載をする				
1日当たりの使用時間	24時間								
使用の季節変動	季節変動なし								
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	塩素系固形錠剤 〇kg/日								
汚 水 等 の 汚 染 状 態 及 び 量	種 類 ・ 項 目	通 常		最 大		通 常		最 大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	5.8~6.8	5.8~6.8	5.8~6.8	5.8~6.8	} 処理施設が特定施設の場合は 別紙 2 と同じ記載をする			
	BOD (mg/L)	200	10	250	20				
	COD (mg/L)	200	15	250	30				
	SS (mg/L)	200	50	250	60				
	ルアルキサン (mg/L)	35	20	40	25				
	T-N (mg/L)	25	20	30	25				
T-P (mg/L)	10	8	20	16					
※有害物質があれば 記載									
量 (m ³ /日)	300	300	400	400					
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	汚泥◎◎m ³ /日、〇〇会社に委託								
排出水の排出方法	No1 排水口→◎◎川 別添 10 のとおり								
その他参考となるべき事項									

- 備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。
- 2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

①処理施設の設置場所

設置場所図により明らかにすること。

②種類及び型式

生物化学的処理、物理化学的処理等の種類及び型式を記入すること。また、メーカー名及び商品名等の名称があれば併せて記入すること。

③主要寸法

汚水処理施設の主な処理槽等の寸法及びその数を記入すること。

④能力

時間（1日）当たり又は1バッチ当たりの処理能力（水量）を記入すること。浄化槽については、併せて処理対象人員を記入すること。

⑤処理の方式

長時間ばっ気方式、加圧浮上方式（連続式）等具体的に記入すること。

⑥処理の系統

処理の系統図により明らかにすること。

⑦集水及び導水の方法

「床面排水を集水溝で集め、塩ビ製埋設管で処理施設まで導入する」等、具体的に記入すること。

⑧汚水等の汚染状態及び量

「汚水等の処理施設の使用時における処理前及び処理後の当該汚水の汚染状態の通常値及び最大値、通常量及び最大量」を記入すること。「種類・項目」欄については、当該特定事業場に関する種類・項目について、その汚染状態の値を記入すること。pH、大腸菌数を除き、単位はmg/Lとする。

⑨残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法

汚水等の処理により生ずる汚泥等の残さの1か月当たりの生成（発生）量とその処理方法を記載すること。残さの処理方法について、業者等に委託する場合、委託先の処理業者名を記入すること。

⑩排出水の排出方法（排水口番号）

処理水が排出される排水口番号を記入し、排水口の位置図により明らかにすること。排水口から主要な河川（例えば一級河川、海域までの排水経路）を具体的に記入すること。

⑪その他参考となるべき事項

排水処理の対象となる特定施設番号（別紙1及び別紙2に記載した施設番号）を記入すること。また、汚水等の処理の方法について、その他参考となるべき事項があれば記入すること。

排出水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		No 1排水口		No 1～5排水口	
排出水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
		pH	5.8～6.8	5.8～6.8	
	BOD (mg/L)	10	20		
	COD (mg/L)	15	30		
	SS (mg/L)	50	60		
	ノルマルヘキサン (mg/L)	20	25		
	T-N (mg/L)	20	25		
	T-P (mg/L)	8	16		
	※有害物質があれば記載				
排出水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		300	400		
その他参考となるべき事項	No 2～No 5は雨水専用排水口である。				

備考 排出水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

①工場又は事業場における施設番号（排水口番号）

当該排水口を特定する排水口番号別紙3と同一のものを記入すること。また排水口名がある場合は、併せて記入すること。

なお、公共下水道に接続している場合、污水管（污水柵）に流す排水については、水質汚濁防止法では排水水として扱わないので、「その他参考となるべき事項」欄に記入すること。

②排水水の汚染状態

当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について、排水口ごとの排水水の水質（通常及び最大）の値を記入すること。この場合、特定施設から排出される汚水だけでなく、特定施設に関連しない汚水についても合計した値を記入すること。

なお、pH、大腸菌数を除き、単位はmg/Lとする。

③排水水の量

当該特定事業場の排水口ごとの排水水の量について、通常及び最大の量を記入すること。

④その他参考となるべき事項

雨水は排水水量に含めないが、雨水専用排水口がある場合は、その旨記入すること。

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

				指定項目の別			COD				
特定排水水	業種その他の区分	汚染状態 (mg/l)		水 量 (m ³ /日)					汚濁負荷量 (kg/日)		※
		通常	最大	通常	最大	Qco	Qci	Qcj	通常	最大	
	16 221	15 15	30 30	205 95	305 95			305 95	3.1 1.4	4.6 1.4	
【汚濁負荷量の算定方法】 通常：(通常の汚染状態) × (通常水量) × 10 ⁻³ 最大：(通常の汚染状態) × (最大水量) × 10 ⁻³											
合 計	/	/	300	400			400	4.5	6.0		
特定排水水以外の排水水	種類及び用途	汚染状態 (mg/l)		水 量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)		/			
		通常	最大	通常	最大	通常	最大				
	※間接冷却水等について記載 (生活排水は特定排水水)										
合 計	/	/									
その他の参考事項											

- 備考
- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
 - 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
 - 3 窒素含有量について記載する場合には「Qco」を「Qno」と、「Qci」を「Qni」と読み替え、Qcjの項には記載しないこと。
 - 4 リン含有量について記載する場合には、「Qco」を「Qpo」と、「Qci」を「Qpi」と読み替え、Qcjの項には記載しないこと。
 - 5 ※印の欄には記載しないこと。

①指定項目の別

化学的酸素要求量（COD）、窒素含有量（T-N）又はりん含有量（T-P）と記入すること（指定項目ごとに作成すること。）

②特定排水

「業種名その他の区分」欄には、愛媛県告示第238号（平成24年2月28日 愛媛県報第2346号）別表1、2、3により、項番号及び業種その他の区分をその区分ごとに記入すること。

「特定排水の化学的酸素要求量（窒素含有量又はりん含有量）」に関する汚染状態の通常値及び最大の値並びに特定排水の通常水量及び最大水量をそれぞれの区分ごとに記入すること。

この場合、特定施設から排出される汚水だけでなく、特定施設に関連しない汚水（生活雑排水等）も記入すること。

なお、それぞれの区分の「最大水量」については、次のとおりQの各欄に内訳を記入すること。

・化学的酸素要求量

Qc0：特定排水の量（Qci及びQcjを除く）

Qci：昭和55年7月1日から平成3年6月30日までの間に許可の申請等がされた特定施設の設置又は構造等の変更により増加する特定排水の量

Qcj：平成3年7月1日以後に許可の申請等がされた特定施設の設置又は構造等の変更により増加する特定排水の量

・窒素含有量

Qn0：特定排水の量（Qniを除く）

Qni：平成14年10月1日以後に許可の申請等がされた特定施設の設置又は構造等の変更により増加する特定排水の量

・りん含有量

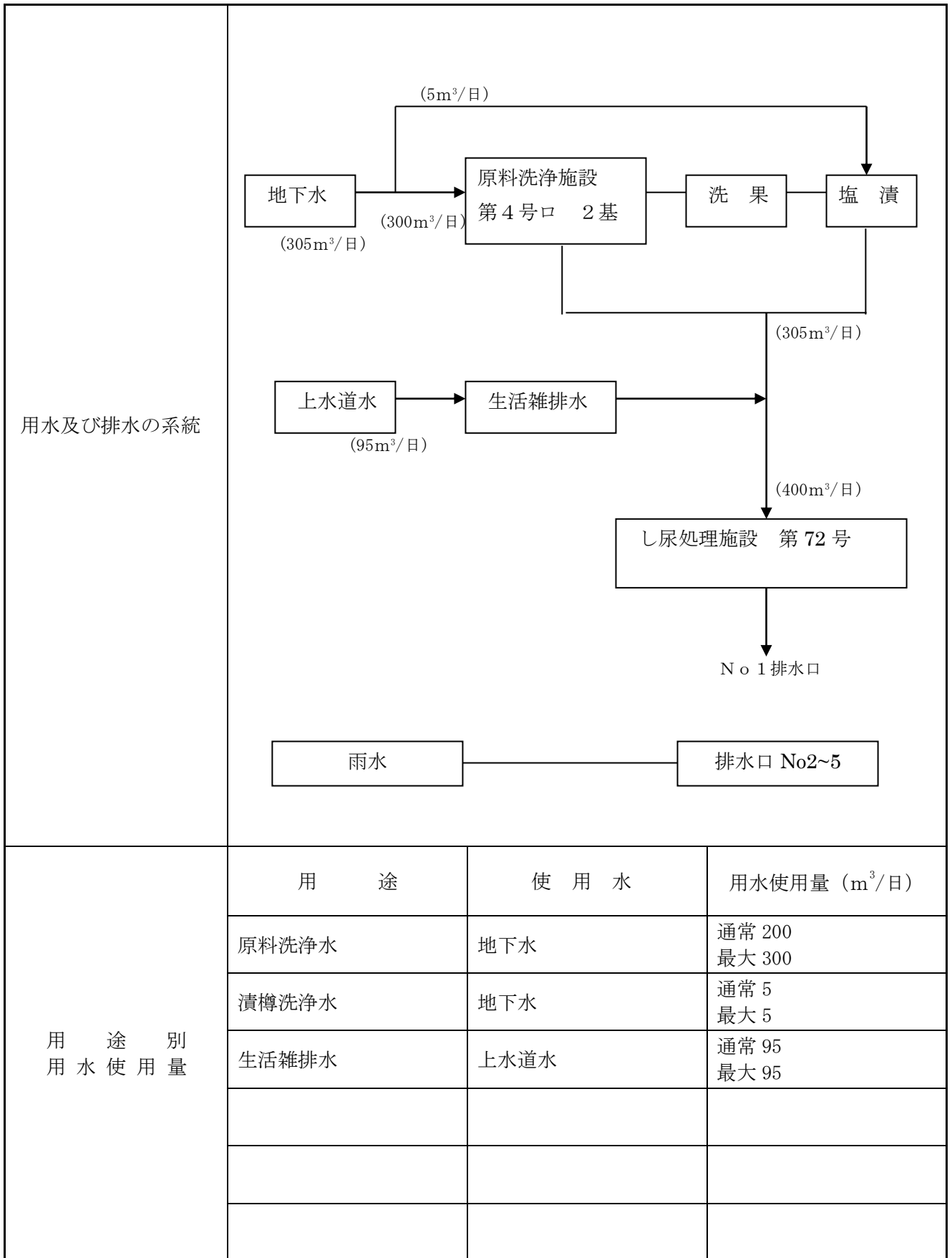
Qp0：特定排水の量（Qpiを除く）

Qpi：平成14年10月1日以後に許可の申請等がされた特定施設の設置又は構造等の変更により増加する特定排水の量

③特定排水以外の排水

「特定排水以外の化学的酸素要求量（窒素含有量又はりん含有量）」に関する汚染状態の通常値及び最大の値並びに通常水量及び最大水量を記入すること。

用 水 及 び 排 水 の 系 統



①用水及び排水の系統

当該特定事業場における用水及び排水の系統について、経路図により明らかにすること。

②用途

用水の使用用途（ボイラー用水、原料用水、洗浄水、冷却水等）を記入すること。

③使用水

用水の種類（上水道、工業用水、温泉水、地下水、河川水、海水等）を記入すること。

添付図面

①主要機械装置の構造及び配置図

特定施設の平面図、断面図については、パンフレット等で構造が明示されたもの、及び当該特定施設とこれに関連する主要機械又は装置の作業場での位置が明示されたものを添付すること。

②配置場所図及び操業系統図

事業場の見取図に特定施設の設置場所を明示（施設番号を併記）するとともに、特定施設を含む操業をフロー図として明示すること。

③主要機械装置の構造図及び配置図並びに設計計算書

調整槽、ばっ気槽、沈殿槽等の平面図、断面図及び設計計算書を添付すること。

④配置場所図及び処理の系統図

事業場の見取図に汚水処理施設の設置場所を明示するとともに、汚水処理の方法をフロー図として明示すること。

⑤排水、汚水等の経路図

事業場内及び建家内の用水・排水の経路を明示すること。

⑥排水口の位置図

排水口（雨水専用排水口を含む）の位置を明示するとともに、排水口番号を併記すること。

⑦事業所周辺の見取図

地図に事業場の場所を明示するか、付近見取図を添付すること。

特 定 施 設 の 設 備

工場又は事業場における施設番号		
特定施設番号及び名称		
設 備		
構 造		
主 要 寸 法	※本様式は、有害物質使用特定施設がある場合に、作成・添付のこと。 なお、記載内容は、「水質汚濁防止法の特定施設の設置届出書」の記載例、別紙1の2を参照のこと。	
配 置		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

- 備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。
2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。